

俺のふるさと、
すげえだろ！

さ さ き く に ひ ろ 佐々木 邦浩

一般社団法人とみおかプラス 事務局長

昭和47年(1972)、富岡町生まれ。
東北学院大学卒業、民間企業で勤務した後、富岡町役場に入庁。
2019年、一般社団法人とみおかプラス事務局長に就任。
自宅は現在も帰還困難区域にあり、家族を避難先の大玉村に残し、単身赴任中。

とみおかプラスは住民と行政をつなぐ中間的な組織として、2017年1月に設立しました。全国で避難生活を送っている人が、「俺のふるさと、すげえだろ!」と胸を張れるような新しいまちづくりに取り組んでいます。

取り組みの一つが、ものづくり。昨年3月、首都圏などから富岡町を応援する「とみおかアンバサダー」の皆さんの協力を得て、富岡町産のコメを使ったスパークリング日本酒「萌^{きざし}」を開発しました。

知る人ぞ知る富岡の特産品に育てていけたらなあと思っています。

もう一つは教育です。世界でも類をみない10年前の大災害を後世への教訓として伝え、自分が今いる場所でどう生かしていけば、暮らしがよりよくなるのか、視察や研修をどんどん受け入れ、皆さんと一緒に考えていきたいと思っています。富岡には今、復興のため働く人たちが多く暮らしています。

そういう人たちに「家族を呼んで住みたいなあ」と、言ってもらえるような町にしていきたいですね。

環境省の皆さんは、直轄除染や鳥獣対策、調査事業など一生懸命取り組んでくれています。地域住民の反応に理不尽さを感じることもあるかもしれませんが、福島が真の復興を遂げるその日まで、一緒に頑張っていきましょう。



高校生に向けた防災ワークショップの様子